

みちしるべ NO. 17

学校教育目標「自分から行動できる子・すすんで学ぶ子・たすけ合う子・きたえる子」



学びあい 支えあい 高めあい 笑顔あふれる学校
優しさと厳しさと温かさで
子どもを鍛え、育む地域の学校を目指して



新時代の幕開け ～新しい権小へ・開校150周年～ 校長 川島 正晴

新年のお慶びを申し上げます。令和5年(2023年)は卯(うさぎ)年です。うさぎが跳ねるように、一人一人の子どもたちが成長・飛躍していく一年にできるよう、皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。今年も質の高い学習・教育活動を目指してジャンプします。



今年の5月、権現堂川小学校は開校150周年を迎えます。権小の「新時代」の幕開けです。「継承」と「創造」を理念として、伝統を受け継ぎつつ、新しい権小をつくる時機がきました。

次の目標に取り組むことで、一人一人が飛躍する一年にしたいと考えています。

- ① 感染症対策を徹底しつつ、**探究的な学び**を「個別最適化」と「協働最適化」の授業およびタブレットの活用と学び合いで実現します。(令和の日本型学校教育・PBL)
- ② 一人一人が**協同的な学び**に参加することで成長できる「ケアの教室」「ケアの学校」を目指し、一人も取り残さない**公正公平で平等な学び**(ウェルビーイング=幸福)を追求します。
- ③ 学年ブロックで授業を交換する教科担任制と、教職員、保護者、地域の方々との協働により**探究的な学びと横断的で持続可能な授業・体験的な授業**を進めます。(SDGs・STEAM)

2学期の終業式で、3年生が「3学期の目標」を語ってくれた内容に「本をたくさん読む。」「心を豊かにし、たくさんの知識を得ていきたい。」とありました。すばらしい目標です。

実際の体験に読書が広がり深まりをもたせ、知識と呼ばれる言葉のつながりを豊かにします。

たどたどしく、しかし、じっくりと自分の経験と本の内容を照らし合わせて読む姿は、実は、よりよい読み方であり、実りある学びの姿なのです。

タブレットを上手に活用しつつ、実際の体験をもとに本を読み、間接経験を繰り返して言葉を豊かに学ぶ。対話の中で信頼関係を学び、自己の効力感を高める。非認知能力の育ちです。

令和5年は「新時代・飛躍」をテーマとします。新しい権小をつくる、新しい自分をつくる時機です。子どもたちも、教職員も、保護者も、地域の皆様も、この一年を飛躍する年にできますように。令和5年も、皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

